

頼られる商工会議所を目指して



苫小牧商工会議所

2021年度 事業報告書概要版

(案)

I. 政策提言要望活動の推進

1. 積極的な政策提言要望活動の推進

地域経済を牽引する総合経済団体として、国・市・道や関係機関などに対する要望・陳情活動を積極的に展開。

(1) 苫小牧市に対する要望書提出

- ① 商工業振興に関する要望書（4月）
- ② 「ゼロカーボンシティ宣言」に関する要望（8月）
- ③ 「デジタルを活用した次世代型まちづくりの推進」に関する要望（1月）

詳細版 P.63、69、70



(2) 北海道商工会議所連合会を通じた国・道・関係機関への要望

- ① 関係各省庁への中央要望の実施（7月）（11月）
要望先 農林水産省、財務省、中小企業庁、観光庁、国土交通省、北海道、北海道開発局、経済産業局、運輸局、国税局等

詳細版 P.88



(3) 東胆振経済団体からの要望

- ① 北海道運輸局・北海道運輸局室蘭運輸支局への要望（3月）
- ② 日本政策金融公庫室蘭支店への要望（3月）

詳細版 P.67、69

(4) 関係各所への要望

- ① 自由民主党への要望（8月）
- ② 北海道エアポート㈱への要望（2月）

詳細版 P.60、67

2. 苫小牧経済会議の共催

市幹部（市長、副市長、関係部長）と正副会頭による意見交換会を共催し、地域課題について意見交換を行った。（12月23日）

詳細版 P.71

【主要議題】

- ・ 苫小牧駅周辺整備について
- ・ I Rと都市再生コンセプトプランの取組について
- ・ ゼロカーボンシティに向けた取組について



II. 新型コロナウイルス感染症対策への取り組み

(1) 相談体制の強化

詳細版 P.77

2020年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症により影響を受ける又はその恐れのある中小企業・小規模事業者を対象として経営相談窓口を開設し、各種支援メニューのご案内、融資相談などを行った。

(2) 苫小牧市プレミアム付商品券第2弾事業（プレミアム率20% とまチケ60%）

登録店舗数 1,346店舗（うち、とまチケ1,065）
販売冊数 20万冊（うち、とまチケ10万冊）1冊5千円
経済効果 約17.8億円（苫小牧市発表）



詳細版 P.55

(3) 新型コロナウイルス支援施策説明会（苫小牧市・苫小牧市商店街振興組合連合会との共催）

日時	2021年 7月19日
講師	苫小牧商工会議所・苫小牧産業経済部 担当者
参加者	33名



詳細版 P.56

III. 地域活性化事業

(1) 苫小牧都市再生コンセプトプラン策定への参画

詳細版 P.53

①第1回苫小牧都市再生講演会の開催（5月26日）

「光海底ケーブル陸揚げによる世界のデータセンター拠点形成を目指して」と題して北海道大学大学院 情報科学研究科特任教授 山本 強 氏を講師に迎えて講演会を開催。約90人が参加した。



②都市再生コンセプトプランにぎわい創出事業（7月3日～18日の土日

6回） 詳細版 P.53

「キッチンカー21@トマベイウォーターフロント」と称してキラキラ公園を会場にイベントを開催。キラキラ公園の賑わいを創出するとともに、コンセプトプランにあるランドマーク施設建設等で、市民が多く集った場合の駐車場、交通、生活環境等の課題を抽出する。約30台のキッチンカーが並び、6日間合計で45,200人が参集した。



③第2回苫小牧都市再生講演会・パネルディスカッションの開催（7月8日）

詳細版 P.53

「ゼロカーボン社会に向けた産業拠点都市の挑戦」と題して講演会・パネルディスカッションを開催。

- 第1部 講演「脱炭素社会のエネルギー構造と水素の役割」
講師 北海道大学名誉教授 近久武美 氏
- 第2部 講演「ゼロカーボンシティ実現に向けた都市システムデザイン」
講師 慶応義塾大学大学院 SDM 研究科教授 山形与志樹 氏
- 第3部 パネルディスカッション
「ゼロカーボン社会における苫小牧の優位性と産学官連携」



④第3回苫小牧都市再生講演会の開催（10月14日）

「ゼロカーボンシティ宣言都市苫小牧の実現可能性」と題してトヨタ自動車株式会社 商用ZEV製品開発部 主査・担当部長 近藤政彰氏とデロイトトーマツコンサルティング合同会社 海外・官公庁チームリーダー シニアマネジャー 榎本哲也氏を講師に迎えて講演会を開催。約120人が参加した。

詳細版 P.54



⑤都市再生コンセプトプランにぎわい創出事業（12月18日・19日の2日間）

「キッチンカー21@トマステ」と称して苫小牧駅南口駅前広場を会場にイベントを開催。「光×音×食」をテーマに掲げ、とまイルスクエア、ライブ・ダンスステージと連動したキッチンカーイベント事業を通じ、苫小牧都市再生コンセプトプランの実現に向けたまちなかの賑わい創出を目的に開催した。2日間合計で1,000人が参集した。

詳細版 P.53



⑥第4回苫小牧都市再生講演会の開催（1月18日）

「スマートシティ推進による新たな地方創生戦略～デジタル田園都市国家構想が目指す未来～」と題して株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門融合戦略グループ長 プリンシパル/主席研究員 東博暢氏を講師に迎えて講演会を開催。約90人が参加した。

詳細版 P.54



⑦第5回苫小牧都市再生講演会の開催（1月25日）

「苫小牧の可能性を拓く 多文化共生の実現に向けて」と題してキャリアバンク株式会社 執行役員 海外事業部・部長 水田充彦氏を講師に迎えて外国人材採用セミナーをZOOMウェビナーによるライブ配信形式で開催。約50人が参加した。

詳細版 P.54

(2) 産学官金連携事業

①セミナーの開催 3月11日 参加者25名（実出席19、オンライン6）

「～SDGsを通じて、豊かで活力ある未来を創る～」をテーマに苫小牧工業高等専門学校創造工学科 情報科学・工学系 教授 三上剛氏と室蘭工業大学大学院工学研究科 特任教授・名誉教授 板倉賢一氏による講演を行った。

詳細版 P.55



②東胆振地産地食フェア・イン・とまこまいの開催

同フェアは、苫小牧並びに近郊の農・畜・海産物を素材とした料理を提供し、地産地消の推進を図ることを目的として例年実施していたが、今年度はスタンプラリー形式で2021年11月30日から2022年1月23日まで開催された。東胆振産食材のPRおよび飲食店への来店促進を目的とし、苫小牧商工会議所会員である飲食店37店が加盟するスタンプラリー事業を行った。感染防止対策として、スタンプラリーには非接触型のアプリケーションを用いた。参加者数は203名となり、スタンプ獲得数は325個となった。

[過去開催状況] 第13回東胆振地産地食フェア・イン・とまこまい (2019)
23企業・団体の出展者 入場者数498名

詳細版 P.55



IV. 経営支援対策事業

(1) 巡回・窓口相談指導 巡回62件、窓口1,565件

詳細版 P.77

(2) 特別相談窓口の設置

詳細版 P.56

①原油価格高騰に関する特別相談窓口 設置日 11月2日

②ウクライナ情勢・原油価格上昇等に関する特別相談窓口 開設日 2月25日

(3) 創業、経営革新、事業再生、事業承継等への支援

詳細版 P.77

①新規創業セミナーの開催（6月～7月） 62名参加

②事業承継セミナー 11月17日 15名参加

(4) 金融指導対策の積極的な推進

小規模事業者の円滑な資金確保と安定した資金繰りを支援するため、「マル経融資」制度の活用推進、市・道融資制度の斡旋業務並びに普及促進を積極的に実施

詳細版 P.80

①マル経融資制度の活用推進 年度累計 14件 9,370万円

②公的融資斡旋 年度累計 193件 17億3,617万円

(5) 人材育成・能力開発の推進

地域の小規模・中小企業の人材育成、能力開発推進のため、集団指導事業として、従業員や経営者向けの各種セミナーを開催

詳細版 P.72, 77

①日商簿記対策講座（3級） 4月～6月 週3回 参加者11名

②相手を動かす！伝わるビジネス
文章の書き方講座 8月 5日 参加者24名

③社会労働保険実務基礎研修 10月12日 参加者35名

④新入社員セミナー 3月24日～25日 参加者12名



(6) 税務指導対策の推進

詳細版 P.79

①販路開拓基礎セミナー 5月11日 参加者12名

②事業計画策定セミナー 8月25日 参加者11名

③インボイス制度の概要と実務対応のポイント 1月25日 参加者48名



(7) 専門相談員による個別指導の実施（のべ相談件数140件）

詳細版 P.78

法律相談、税務相談、経営相談、労務相談、法務相談、発明特許相談、許認可申請相談、事業承継相談、金融相談

(8) 小規模事業者持続化補助金への対応

詳細版 P.58

2021年度申請件数160件 採択件数 60件

(9) 経営発達支援事業

詳細版 P.58

地域の小規模事業者の持続的発展を支えるため「経営発達支援計画」を策定し、様々な事業を展開

小規模事業者の販路拡大
第56回スーパーマーケット・トレードショー2022出展
2月16・17・18日開催 42,885名が来場
実績 食品製造業・卸売業2社が参加 名刺交換247枚 交渉中46件



V. 商工会議所運営事業

(1) 会員の推移

	2021年度	前年度対比
会員数	2,150事業所	+12
入会数	88事業所	-52
脱会数	76事業所	-1



詳細版 P.2

(2) 会員サービス事業、親睦交流・福利厚生事業の積極的な実施

- ① 会員事業所並びに共済制度加入事業所福利厚生事業
くだもの狩り+温泉日帰りツアー (コロナ中止)
- ② 会員事業所並びに共済制度加入事業所親睦交流事業
プロ野球観戦ツアー 8月21日(土) 参加者数10名
- ③ 優待割引サービス事業「とまポン」の発行・運営
提携事業所数48事業所 発行累計枚数15,454枚

詳細版 P.58



(3) 異業種交流事業の実施

- ① 新年交礼会の開催 228事業所245名参加 (2年ぶりの開催)
会員相互の親睦と団結を図り、より一層の飛躍を期待して、会員事業所が一堂に会して例年実施していた新年交礼会。コロナ禍で昨年度は中止となったが、今年度は新型コロナウイルス対策として来場者数を1社1名に制限したほか、時間短縮に努め、着席形式とするなどして開催した。

[過去開催状況] 2020年新年交礼会 参加者295事業所780名

- ② 新入会員交流・懇談会の開催
会員活動委員会主管の「2021年度苫小牧商工会議所新入会員交流・懇親会」を3月25日(金)に開催した。2021年度に新たに入会した会員と当所役員・議員ら合わせて26名が参加し、交流の輪を広げた。

詳細版 P.58



(4) 各種検定試験の実施

- ① 日商簿記検定試験 年度累計受験者数271名
- ② 日商珠算検定試験 年度累計受験者数961名
- ③ 北海道観光マスター検定試験 受験対策セミナー(10月) 参加者17名
- ④ 北海道観光マスター検定試験(11月) 受験者数71名
- ⑤ 第64回苫小牧地方珠算記録会並びに2021年全国そろばんコンクール

詳細版 P.75、85



(5) 縁結び支援事業の開催

- ① とまこ・My・LOVE 婚活パーティー2021
会員事業所などに勤務する20~45歳の男女を対象に毎年開催し、苫小牧信用金庫の協力のもと今回で10回目の開催。
男性19名、女性20名が参加し、11組のカップルが成立し終了した。

詳細版 P.58



(6) 議員会・女性会・青年部事業活動の推進

①議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・親睦ゴルフ大会 9月27日 参加者20名 ・賀詞交歓会 (コロナ中止)
②女性会	<ul style="list-style-type: none"> ・苫小牧経済センタービル花壇整備 ・全道商工会議所女性会研修交流会 (コロナ中止) ・第53回全国商工会議所女性会連合会総会オンライン開催
③青年部	<ul style="list-style-type: none"> ・苫小牧商工会議所会頭・事務局長と青年部役員との懇談会

詳細版 P.45、46

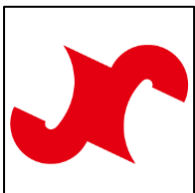


(7) その他事業

詳細版 P.20、58、59、87

①永年勤続従業員表彰 35事業所106名	
②政策アドバイザーによる講演会 11月 8日 当所の政策アドバイザーであり北海道大学公共政策大学院客員教授である、石井吉春氏を講師に迎え、「アフターコロナを見据えて」と題して講演会を開催した。市内の経営者ら70名が参加した。	
③健康経営優良法人2022に認定 当所では健康経営優良法人2022（中小規模法人部門）認定向け取り組み、2022年3月に認定された。従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人を顕彰する制度で、2019年北海道内の商工会議所としては初めての認定取得を行った。	
④苫小牧経済センタービル改修工事の実施 経済センタービルは、築46年（1975年建築）が経過し、老朽化が進んだため、2021年度は6階大ホールの改修、廊下や壁など修繕12件の工事を集中的に実施した。 また、2022年4月より新たにテナントが5階フロアに入居することが決まったため、5階フロアの改修工事を実施した。	
⑤IT化の取り組み 2021年度は、正副会頭会議にタブレット端末と資料閲覧ソフトを導入し、ペーパーレス化を行った。また、事務局ではリアルタイムでスケジュールや情報の共有、決裁などの業務をシステム化できるグループウェアを導入し、業務効率化と生産性向上を図った。	
⑥日本商工会議所表彰（組織強化表彰）の受賞 日本商工会議所では、全国の商工会議所の中で会員の純増数上位の会議所を表彰しており、当所は会員数増加部門で表彰された。（入会140件）	





【事業報告書の詳細版について】

より詳細に事業を記録した事業報告書の詳細版を当所ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。
ホームページ URL <https://tomakomaicci.jp/pages/364/>

